

のびやか・しらおか



学校教育だより



地域の宝として

先日、ボランティアで学校の下校指導をしてくださっているかたからこんな話をうかがいました。

「最近、パトロールをしていると、あいさつを返してくる子が増えたような気がする。知らない人とは話をしないようにと、心ならずも指導しなければならぬ時代だけれど、やっぱりあいさつや返事が返ってくるとうれしいよね。」



学校の帰り道に、何の罪もない命が次々に奪われる事件が起きてから一年あまり。子どもたちの安心・安全を守ろうと自主的に立ち上がり、今も地道に活動を続けてくださっているかたが、町内にもたくさんおられます。

この話題を提供して下さったかたも、最近子どもたちともすつきり顔なじみになり、「もつ風邪はなあったの?」「気をつけて帰るんだよ。」など、簡単な会話を楽しんでいらつています。

子どもたちは地域の宝です。不審な人物に出会ったり、危険な目にあつたとき



かといふことは、確実に指導しなければなりません。家庭や学校、地域が一体となつて子どもたちをたいせつに見守つていられるという事実も伝えながら、人の心のぬくもりや感謝の心などに気づかせていきたいものです。

問合せ 教育指導課 内線263

春休みの防犯放送時間変更

現在、午後3時から放送している防犯放送の時間が次のようになりつます。

放送時間
3月27日～30日 午後4時30分
4月2日～6日 午後5時30分

皆様のご理解・ご協力をお願いします。

問合せ 教育総務課 内線252

人権それは愛

『いじめ』

いじめとは、強いものが弱いものに対して、一方的に肉体的・精神的に苦しめることです。

いじめは、「いじめる人」と「いじめられる人」、そのほかに「周囲でただ見ている人」や「おもしろ半分にはやし立てる人」などで成り立っています。

いじめた側は、「あいつは、ウザイからみんなで無視した。」などと、いじめを正当化します。いくら正当化してみても、ウザイからといっていじめていいわけではありません。

いじめられた人は、「死にたい」とまで思いつめることもあります。

いじめた人にとつて、その時だけで終わつたいじめだとしても、いじめられた人は、大人になつてもいじめによる『心の傷』が癒えないこともあります。

皆さん、『いじめはいけない』ことです。いじめによる悲劇を二度と繰り返さないように…。

いじめは、きわめて身近で重大な人権侵害です。

人権とは、すべての人が守らなくてはならない、とても大切なものです。

ウザイ…「うつとうしい」など不快感を

表す言葉